

小さいのちのドアでは相談から生活支援、そして自立へのサポートをしています。このような働き中で私たちが気付いたことがあります。それは頼る人がいない、住む所がないという状況はそれ自体大変なことなのですが、もっと大変なことは、そこに至るまでにどれほどの傷を負い、裏切られ、愛されることが少なかったかということです。相談される多くの方は悲しく、苦痛の成育歴を持っておられます。

頼る人がいない孤立した妊婦さんのサポートはただ衣食住を満たすだけはいけません。妊娠という自分の力ではどうすることもできない時だからこそ、人の温かさに触れてほしいのです。

2020年12月に完成したマタニティホーム「Musubi」はまさに妊婦さんが愛に包まれる場所です。人生の中でも、一番つらい時に訪れる場所かもしれません。しかしその人生で一番つらい時が幸せの人生へのターニングポイントとなるような場所にして頂きたいと願っています。



小さいのちのドアを支えてください

小さいのちのドアは、寄付金のみで運営しています。どうぞ私たちと一緒に小さいのちのドアを支えてください。ご支援くださった方には、ニュースレター(1~2/年発行)お送りいたします。また、ニュースレターにはご支援くださった方々のお名前を掲載させていただいております。匿名希望の方はその旨をお知らせください。

小さいのちのドアは、社会的信頼度の高い公益社団法人と認定され、個人・法人共に税制上の優遇措置を受けることが可能となりました。確定申告を行うことで、寄付金控除を受けることができます。

【例】10,000円を寄付した場合(個人)

計算式 (寄付金-2,000円)×40%

寄付 10,000円 → 小さいのちのドア

3,200円 還付 税務署

3,200円の還付を受けることができます

※金額は寄付金額などにより異なります。

サポートの種類

1. 一般会員 一口(個人) 10,000円/年(団体) 100,000円/年
2. 賛助会員 一口(個人) 3,000円/年(団体) 30,000円/年
3. マンスリーサポーターになる: 任意の金額/月
4. 寄付をする
5. ボランティアに参加する ※詳細は事務局へ
6. 里親希望(特別養子縁組や里親制度をご紹介) ※詳細は事務局へ

入金先

1. オンライン決済(クレジットカード決済)
Square(スクエア)・Syncable(シンカブル)・READY FOR(レディフォー)でのクレジット決済が可能です。
<https://door.or.jp/support>



2. 銀行振り込み
金融機関 三井住友銀行 ゆうちょ銀行
支店名 鈴蘭台支店(348) 099(ゼンキョウ)店
種類・番号 普通5062338 当座0333599
名義 公社) 小さいのちのドア 小さいのちのドア

※公益社団への移行に伴い、三井住友銀行の口座名義が変更されました。
[変更前] 一社) マチイホーム・マ → [変更後] 公社) 小さいのちのドア
※三井住友銀行にご入金くださった方は、電話/FAX、メール、または、小さいのちのドア宛にお名前とご住所をお知らせ下さい。ご連絡がないため、ご報告やご挨拶ができないままの方々が複数名おられます。特に領収証が必要な方は、必ず連絡先をお知らせください。

3. 郵便振替・自動送金
記号 00900-9
番号 333599
加入者名 小さいのちのドア

4. 現金書留
下記、事務局宛をお願いします。
公益社団法人小さいのちのドア
兵庫県神戸市北区ひよどり台2-30-7
TEL/FAX: 078-743-2405
Mail: office@door.or.jp

Supported by 公益社団法人 THE NIPPON FOUNDATION

SNSでも情報発信中!

Facebook, Twitter, Instagram, LINE, YouTube icons

公益社団法人 小さいのちのドア
〒651-1123 兵庫県神戸市北区ひよどり台2-30-7

アクセス 神戸市営バス または 阪急バス
「ひよどり台センター前」下車(徒歩5分)
JR神戸駅より30分 / JR三ノ宮駅より20分
地下鉄名谷駅より15分 / JR新長田駅より30分

思いがけない妊娠で途方に暮れるあなたの
もう育てられないと追い詰められてるあなたの
私たちは力になりたい

あなたの幸せのために
小さいのちのために
全力でお手伝いします

24時間、ドアの向こうで待っています

相談無料

匿名OK

秘密厳守

いのちのドアTEL【相談専用】
思い悩み 話 してみて 妊娠 お産
078-743-2403

LINE ID: @inochinodoor

inochi@door.or.jp

http://door.or.jp

※LINE・Mailの場合、すぐに対応できないこともあります必ずお返事します。
※2日過ぎても返信がない場合は、再度ご連絡ください。

公益社団法人 小さいのちのドア



思いがけない妊娠や育てることができなくて追い詰められた女性のための相談窓口、小さいのちのドアは2018年9月にスタートし、24時間体制で、電話、メール、SNS、来所などの方法でいのちを守る働きをしています。

小さいのちのドアには、パートナーや実家に頼ることができず、孤立して途方に暮れている妊婦や、妊娠したことで職を失い住む所も失ってしまった妊婦からの相談が絶えません。友だちに頼るにも限界がありますし、行政に相談に行っても「産んでから来てください」と言われます。日本には妊婦の生活支援に特化した制度がないのです。

小さいのちのドアは思いがけない妊娠やもう育てられないと追い詰められ行き場を失った女性のための支援団体です
相談から生活支援、自立に向けての一貫した【医・居】【食・職】【住・充】の支援を行い、女性と小さいのちに寄り添うことを大切にしています

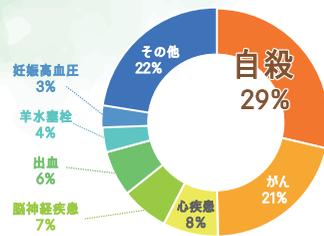
日本の現状

中絶による傷

現在日本では統計上年間約16万件（実数はその倍とも）の人工妊娠中絶が行われています。中絶によって女性自身は傷つき罪悪感や喪失感、うつ状態になる人や不妊症、死亡に至る事故も報告されています。支援があれば助けられるのちもきっとたくさんあったことでしょう。計り知れない可能性があるいのちを守るためにまた中絶による傷を負うことなく、生きる道を一緒に考えていきたいと願っています。



5.5人が生まれるのに対し1人が中絶
2020年人口動態・衛生行政報告より



国立成育医療研究センターなどのチーム
2015～16年における妊産婦死亡の調査より

妊娠・出産・育児におけるメンタルヘルスの問題

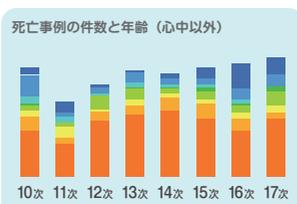
妊産婦の死亡について自殺が3割以上を占め、最多という現状、妊娠や子育てへの不安や生活環境の変化から、精神的に不安定になりやすく、産後うつなどメンタルヘルスの悪化で自殺に至るケースも多いと考えられています。サポートがあれば、防ぐことのできたものもあったでしょう。いつでも相談できる場所が、少し休む場所があれば救えたいのちがあるのです。

DVや虐待の増加

月に1人以上の新生児が溝や公園、ロッカーに遺棄されています。虐待死で一番多いのが0歳児。特に0日の虐待死が一番多く、その加害者はほとんどが母親。その全員が未受診で、多くが予期せぬ妊娠によるものでした。母親を責めることは簡単です。でもそうせざるを得なかった母親の背景にある複雑な理由に目を向けたことがあるでしょうか。母親自身もまた虐待を受けていた過去を持ち、また夫からのDV（ドメスティックバイオレンス）を受けている事例も少なくありません。支援があれば救えるいのちがあるのです。



児童虐待相談対応件数



子ども虐待事例の第17次報告より

家庭で暮らせない子どもたち

虐待や経済的問題、親がいないなどの理由で家庭で暮らすことのできない子どもたちが約4万5000人います。子どもが健全に育つためには特定の大人の中で愛され受け入れられ育っていくことが必要です。

小さいのちのドアの活動

「小さいのちのドア」は、思いがけない妊娠や出産・育児で追い詰められた女性のための24時間開いている相談窓口です

小さいのちのドアが目指す社会

- 結婚に至らない妊娠でも女性と胎児の尊厳が守られる社会に！
- 産んだ後、赤ちゃんを託すこと（特別養子縁組）が認められる社会に！
- 最も小さいのちである胎児や赤ちゃんが最も大切にされる豊かな社会に！

卵を守る鳥を温かくサポートする他の鳥たちのように一人で思い悩む女性に寄り添い



“私はあなたとともにいる。見放さず、見捨てない。”
そんな思いを込めて活動しています

【医・居】

24時間365日いつでも
電話や来所、メール、LINEなど
どんな方法でも相談できます

助産師や保健師など医療や福祉、心理系
国家資格を持った専門職による心身のケアを通して
予期せぬ妊娠などによって悩み、病んでおられる心に
寄り添い、笑顔で歩んでいけるお手伝いをしています

Musubi Cafeなどを通して
女の子たちの居場所づくりをしています

妊娠検査薬を使用した妊娠判定や
助産院と連携し診察することができます

初回受診～出産～産後をサポートしています

生と性の教育を実施しています

【住・充】

行き場のない妊産婦さんのための
妊娠中から産後まで安心安全に過ごせる
マタニティホームを運営しています

行政や民間のサービスを活用し、自立できるようにつなげています

サポーターには顧問弁護士や精神科医などもおり
様々な面からサポートできます

誰でも相談できるように匿名での相談ができます
また相談等は無料とし、経済的な心配がある方も
安心して相談できるようにしています

赤ちゃんが温かい家庭で育つこと、お母さんが幸せに
生きていくこと、どちらも叶う生き方を一緒に探します

マタニティホーム「Musubi」

生活支援・自立支援

人と結ばれ
社会と結ばれ
絆が結ばれ
愛が結ばれる

そんな居場所になればと、思いを込めて名付けたマタニティホーム「Musubi」は、妊娠による様々な理由で行き場を失っている妊産婦さんのためのホームです。

妊娠期から産後、安心して過ごせる環境が整うまでの期間の方を対象に、相談や生活支援をはじめ、関連機関への連携や同行支援、ご自身で生活できるまでをサポートする自立支援などを行っています。

【食・職】

温かいバランスのとれた食事や食卓の提供をしています

自立に向けた就労支援や学習支援も
関連団体さんと連携し、行っています

やりたい仕事や働き方を一緒に考え、応援しています

マタニティホームでできること

相談	電話・メール・SNS・来所、様々な方法で24時間365日いつでも、相談できます 妊娠や出産のこと、産後の生活のこと 仕事や学校、家族やパートナーのこと どんなことでもご相談ください
医療福祉	妊娠の確認 カウンセリング・心身のケア 行政や病院とのパイプづくり・同行支援 民間団体との連携 性教育など
居場所	安全に安心して過ごせるお部屋を提供 妊娠期から産後の支援が必要な時期まで 専門職者によるサポート いつでも行ける、帰ってこれる場所の提供
食事	温かい食事、バランスのとれた食事の提供 好きなものを作ったり、作ってもらったり することができます
就労	やりたい仕事、働き方などを一緒に考えて応援します
学習	セミナーボランティアさんによる 興味のあることの学習 高校認定試験や学校の勉強のサポートなど
仲間	ピアサポート 女の子の居場所プロジェクトなど



性教育「いのち語り隊」

いのち語り隊

いのち語り隊は、「いのち」に日々、直接携わる助産師が、有志のメンバーと共に視聴覚教材や体験教材を用いながら、子どもたちに「いのちと性」の大切さをお話しています。2001年から活動を開始し、2022年4月より、公益社団法人小さいのちのドアの性教育部門となりました。



いのち語り隊の考え方の一つである「小さな命に責任が持てるまではNO SEX!」のキャッチコピーは、TBSの「情熱大陸」のプロデューサーの賛同をいただき、放映されました。いじめや多発する青少年犯罪、低年齢化する性体験、10代の人工妊娠中絶や性行為感染症の増加、若者たちの自己中心的な考え方や大人社会への不信感を表す言動…「どうか、子どもたちの心が健全に育ちますように」と願わずにはいられません。

正しい性の知識を学ぶことは、如何に生きるかを考える学びであると共に、しっかりとした人生観や円満に人間関係を築く力が養われます。自己実現に向けての生き方を考えることによって、自らの「性といのち」また他の人の「性といのち」を大切にできるようになります。性教育といのちの教育は、同時に学ぶことによって、より効果が得られます。

これからも、小さいのちや女性たち、子どもたちが笑顔で幸せに過ごせる社会の実現を目指して、講師養成などいのちと性についての本質を語る性教育を広めながら、いのちの輝きを語る活動を続けていきたいと思っています。

講演実績

いのち語り隊のメンバーは、講師の助産師が約8名、ヘルプの助産師と有志が約20名。幼稚園や学校、団体などで、毎年100～150か所に出向いて、講演をしています。

講演依頼お申し込み

メール または、お申し込みフォームより講演の申込みをしてください。お問い合わせや講演内容などの詳細は、以下よりご確認ください。a

- 078-742-3474
- 078-742-3475
- kataritai@door.or.jp
- https://door.or.jp/kataritai



最も小さいのちや弱い立場にある人が大切にされる真の豊かな社会を目指して、困っている人、涙を流している人、孤独の中にいる人に、一緒に手を差し伸べませんか？

温かい社会があること、尊い存在だということ、諦めないでいいこと、そんな発信が出来る場所を目指し、こころ尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして愛を届けていきましょう